特別支援教育あどばいすタイム

「見えにくさ」のある子どもたちへの支援
～その困り感の要因に『見えにくさ』はありませんか？～



徳島県立徳島視覚支援学校

内　容

１．はじめに

２．目から情報を取り入れ、活用する仕組み

３．事例紹介　「見えにくさ」に起因する困り感

４．アセスメントとそれに基づく支援

５．本校のセンター的機能について

Ⅰ．はじめに

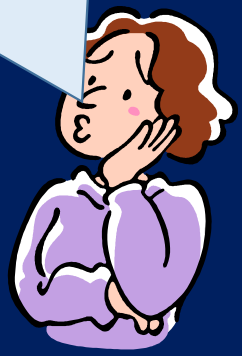
「見えにくさ」のある子どもはいませんか？

うちの園・学校（学級）には、「見えにくさ」のある子はいません。

見えるかどうかたずねると「見えます」と答えますよ。







子どもたちが話してくれたこと

自分が見えにくいとは
知らなかった。
みんな同じように見えて
いると思っていた。

少しずつ見えにくく
なっていることに
気づかなかった。



子どもたちが話してくれたこと

見えにくいと
気づいていたが
言い出せなかった。

見えにくさを訴えたが
わかってもらえなかった。



「見えにくさ」から派生したさらなる困り感

学力不振

意欲の低下

飽きっぽい
集中が短い
不注意
疲れやすい
やる気がない
と思われがち…

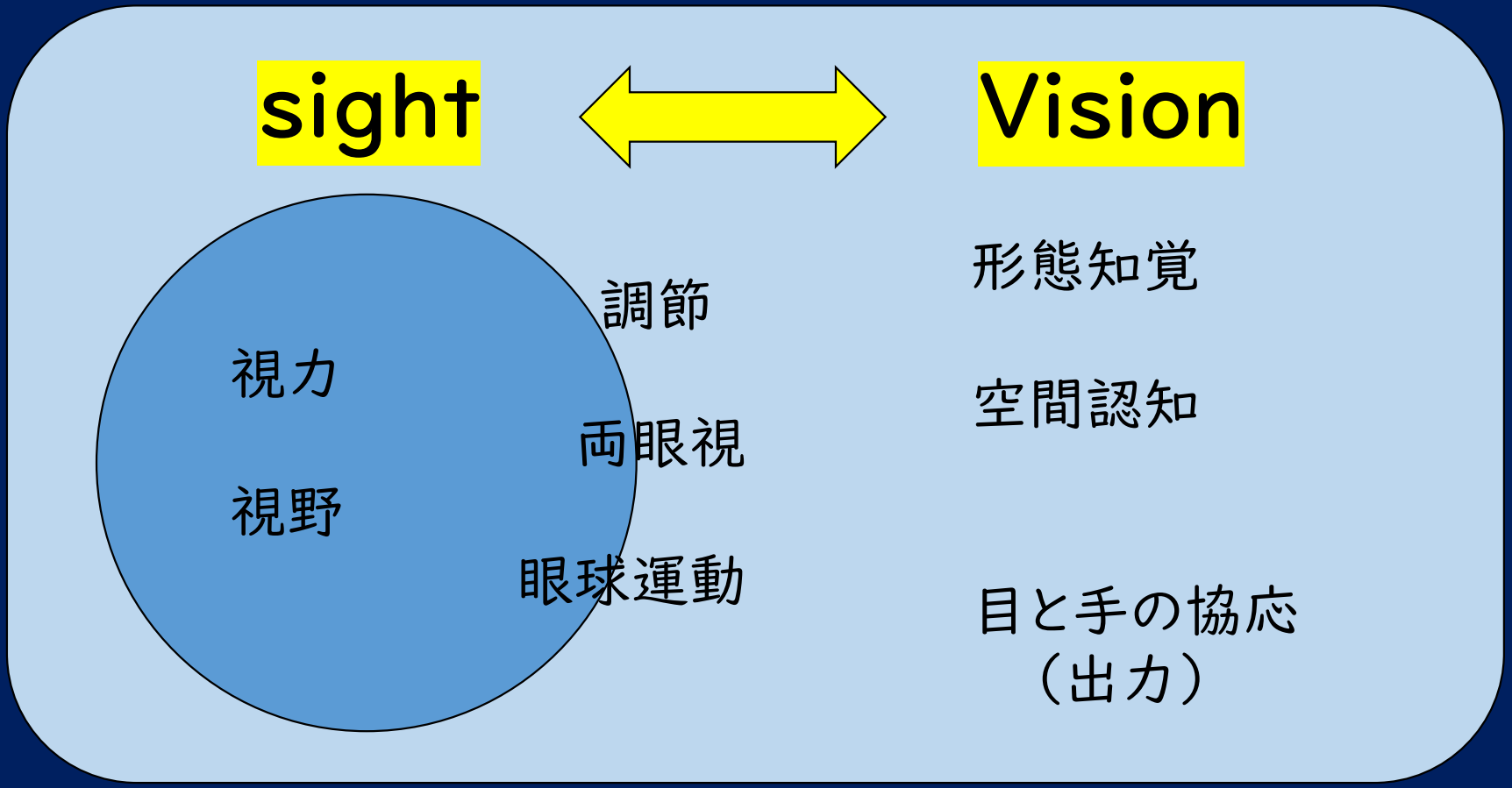




自信の喪失

人間関係の
トラブル

2．目から情報を取り入れ、活用する仕組み



【入力】→←【分析】→←【出力】

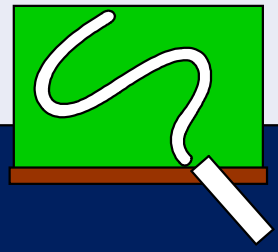
sight

視力や視野などの視機能を使って
映像を脳に取り込むまでの段階の「見る力（視知覚）」
→眼科受診、眼鏡等による治療や矯正、経過観察

Vision

「素早くピントを合わせてものを見る」
「両目のチームワークを保って遠近感を把握する」
「見たいものに視線を向ける」
「見た形を頭にイメージする」
「位置や空間を捉える」
などを含めた広い意味での「見る力（視覚認知）」
→視能訓練、各種トレーニング

入　力	分　析	出　力
・教科書、黒板、演示、話をしている人などに視線を向ける。 ・ピントを合わせる。 ・見るべき箇所を見続ける。 ・動きに合わせて、視線を動かす。	・見るべきもの（図）と背景（地）を判断する。 ・文字や動作がどのような構成なのか分析する。 ・見た文字や動きなどを記憶する。 ・頭の中にある視覚的イメージを統合する。	・演示に合わせて動く。 ・筆記具を使って、紙に文字を書く。 ・見た文字を音声に変えて声に出す。



３．事例紹介「見えにくさ」に起因する困り感

一斉指示や演示が伝わらない。

教室後方の座席では落ち着かず、学習に参加できない。

よくつまずく。

段差を怖がる。

ものをなくす。

相手の気持ちがわからず、友だちとトラブルになる。

一斉指示や演示が伝わらない。

教室後方の座席では落ち着かず、学習に参加できない。

よくつまずく。

段差を怖がる。

ものをなくす。

相手の気持ちがわからず、友だちとトラブルになる。

・視力が低く、ぼんやりとしか見えていなかった。
・遠くのものがよく見えなかった。
・両眼視ができず、立体感がわかりにくかった。
・視野が欠けている部分があった。
・相手の表情や身振りなどがよく見えていなかった。

〔入力〕部分に要因があった。

文字に興味がない。

文字が読めない。書けない。覚えられない。

音読が苦手。

読むべき箇所がわからなくなる。

絵を描くことが苦手。

体操やダンスが苦手。

文字に興味がない。

文字が読めない。書けない。覚えられない。

音読が苦手。

読むべき箇所がわからなくなる。

体操やダンスが苦手。

絵を描くことが苦手。

・ものの形や動作などをとらえたり、分析したりすることが難しい。
・単語や行などのまとまりをとらえることが難しい。
・見たものを記憶し、再生することが難しい。
・複数の活動を伴いながら、「見る」ことが難しい。

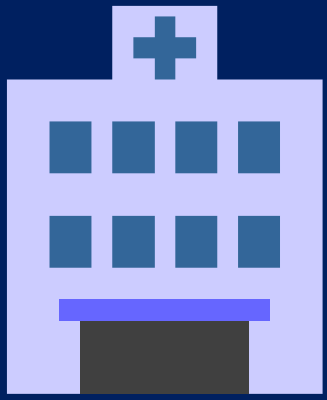
〔分析〕〔出力〕部分に要因があった。

「見えにくさ」があるときに出やすい特徴①

視力低い、ピント調節がうまくいかない、ときに見られる特徴

・近くのものを見るとすぐに疲れる
・時々ものがぼやけて見える
・見る作業を続けると頭痛が起こる
・異常にまぶしさを感じる
・目をよくこする　・目を細める
・見る作業で集中力が続かない



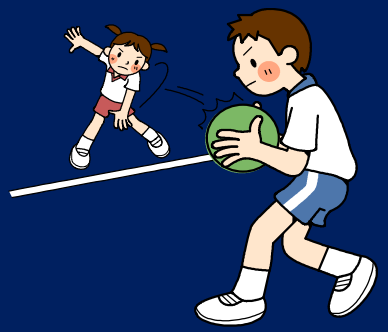


眼科を受診し、必要に応じて治療や眼鏡等による矯正をしましょう。

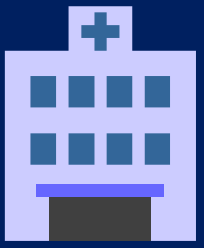
「見えにくさ」があるときに出やすい特徴②

輻輳・開散運動が弱いときに見られる特徴

- ときどきものが二重に見える
- 目がすぐに疲れる
- 見る作業を続けると頭痛が起こる
- 片目をつぶってものを見る
- 顔を斜めにしてものを見る
- 非常に近くに寄ってものを見る
- 遠近感が取りづらい
- 球技が苦手







眼科を受診し、必要に応じて治療や眼鏡等による矯正をしましょう。

「見えにくさ」があるときに出やすい特徴③

眼球運動が弱いときに見られる特徴

・板書や教科書、プリントの文字をノートに写すのが苦手
・探しものを見つけられない
・読みが非常に遅い　　・文字の順番を間違えて読む
・文章を読む際、文字や行を繰り返し読んだり、読みとばしたりする
・球技が苦手
・定規の目盛りを読むのが苦手
・百ます計算など、マスをたどる作業が苦手

内的視覚条件の評価

外的視覚条件の評価

「見■えにくさ」があるときに出やすい特徴④

形態知覚・空間知覚が弱いときに見られる特徴

・数字、かな文字、漢字などの習得に時間がかかる
・覚えた文字の想起に時間がかかる、または困難
・文字の読み間違いが多い
・図形の問題が苦手
・数的概念・量的概念の理解が難しい
・鏡文字がある
・写し絵・写し字が苦手
・書いた文字のバランスが悪い　　・マスや行に収まらない
・図形の部分のみを見てしまい、全体をうまく把握できない

内的視覚条件の評価

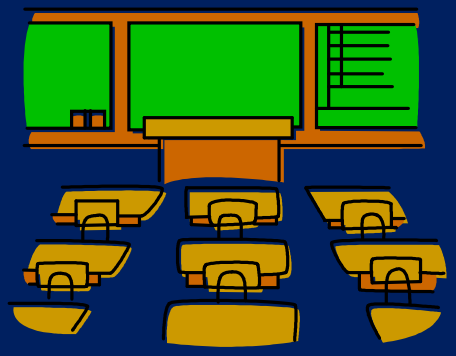
外的視覚条件の評価

4．アセスメントとそれに基づく支援

内的視覚条件の評価



外的視覚条件の評価



◆園や学校で実施される視力測定は、見えにくさに気づく大切なポイントです。視力測定後の眼科受診勧告をしても、なかなか眼科を受診されない場合は、保護者に対し受診の後押しをお願いします。

※年齢や発達の状況などから視力測定の実施が難しい場合、「測定困難」として処理せず、本校に相談してください。

◆子どもたちの行動や訴えの背景に、「見えにくさ」があるかもしれないという視点をお持ちください。

眼科を受診し「見えにくさ」の要因に対し、必要な治療や眼鏡による矯正などをする。

◆「見えにくさ」の要因が、手術や治療が必要な疾患である場合があります。また、遠視・近視・乱視など、眼鏡やコンタクトレンズによる矯正が必要な場合もあります。眼科での診察が必要です。

◆眼科受診結果を踏まえた上で
見えにくさに対する適切な支援を実施することが大切です。



内的視覚条件の評価

子どもがもつ「見る力」の特徴の評価

・在籍校で測定した視力測定結果
・眼科受診結果（視力、屈折異常、眼疾患、眼振、斜視、等）
・心理検査結果

●教育的視機能評価（近距離視力、最大視認力、立体視、色覚等）
●最適読書文字サイズの評価

●視知覚や視覚認知に関する評価
　ＤＥＭ：Developmental Eye Movement Test
　近見・遠見数字視写検査
　WAVES：見る力を育てるビジョンアセスメント



外的視覚条件の評価

教材・教具や学習環境、学習の方法、
指導の構成などが適切かどうか。

・使用している教科書
・使用しているノート（枠や行の大きさ、罫線の濃さなど）
・板書（文字サイズ、量、書く速度、視写のための時間の確保
　　補助黒板等）
・筆記具、ノート、下敷きなど
・ワークシート、教科書ワーク、タブレット等の活用
・その他
　　座席位置、机や椅子の高さ、書見台、カットアウトテーブル
　　座面クッション、照明状態



具体的な支援例



- 書見台の活用
- カーテンや照明による明るさの調整
- 座席位置の調整



- 拡大教科書の活用
  ※本人の見え方に応じた文字サイズの選定
  ※視覚補助具との併用

具体的な支援例　音声教材等

- 通常の教科書では文字等を認識することが困難な児童生徒のための教材
- 採択している検定教科書（拡大教科書）のデータを提供
- 本文の音声読み上げ、ハイライト表示、文字サイズの変更、背景色・文字色・字体の変更等、ルビ表示などそれぞれの困り感に合わせて設定の変更ができる。
- タブレット（パソコン）、紙冊子と音声ペン、音声のみなど、さまざまな形で提供。

★文部科学省、各製作団体HPや、
YouTubeで音声教材の動画を視聴可



具体的な支援例

- 必要な視覚補助具の選定と活用のための練習

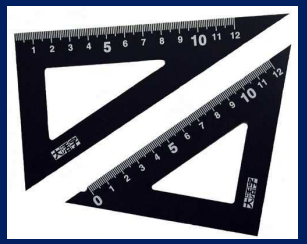








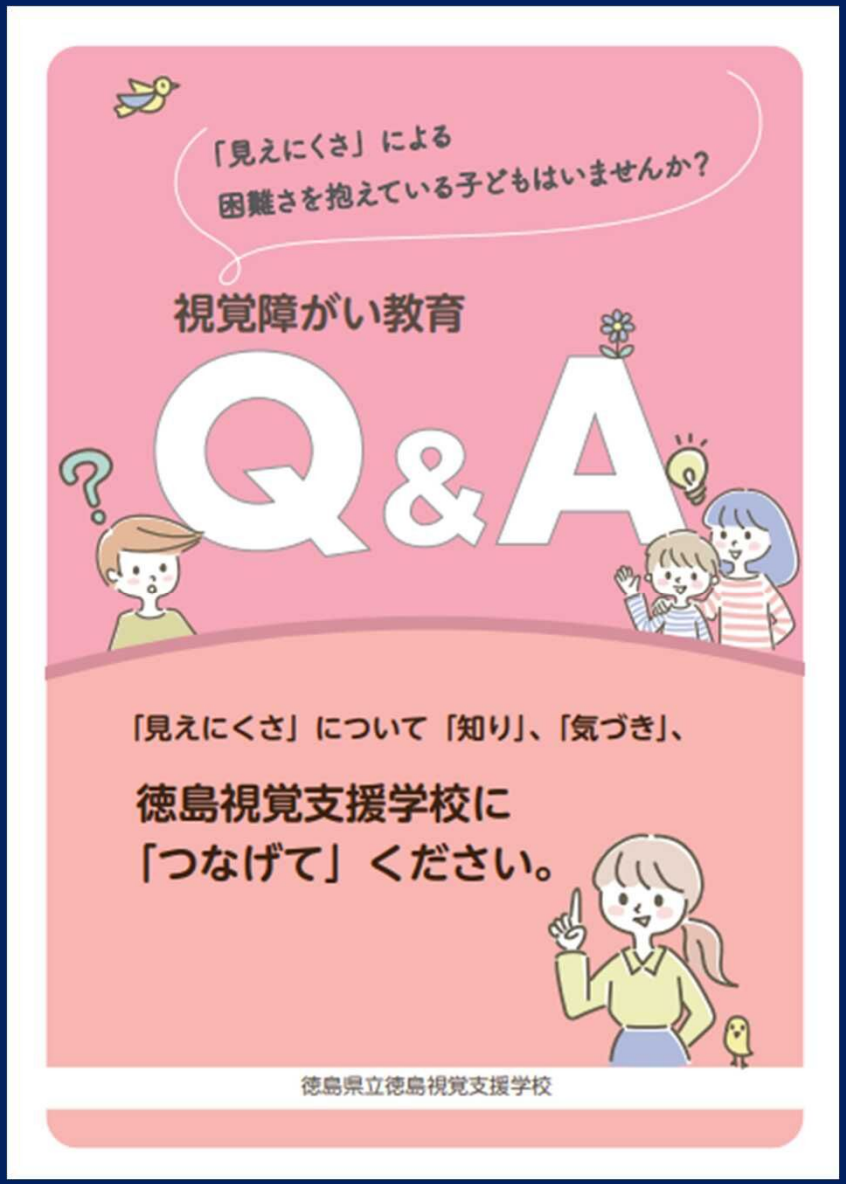








- 教材教具の工夫
- 支援する上での工夫や配慮事項についての検討



視覚障がい教育Q&A

・本校HPに掲載しています。

５．本校のセンター的機能について

センター的機能①

・地域の視覚障がい等を有する幼児・児童生徒に対して



特別支援教育巡回相談
来校相談
弱視通級指導教室
乳幼児教育相談　　等を行い、支援しています。

特別支援教育巡回相談

特別支援教育巡回相談員が、保育所・幼稚園・こども園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校などへ出向き、相談に応じる。

- 弱視特別支援学級設置校、および視覚障がい児・生が在籍する園・学校を巡回相談員が訪問し、相談活動を行う。
- 随時依頼があった相談対象者が在籍する園や学校などを巡回相談員が訪問し、相談活動を行う。

気づく

- 視力測定
  （ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ）
- 行動観察
  （保護者・教員）
- 本人からの
  訴え



眼科受診

- 視力検査
- 他各種検査
- 診断
- 治療
- 眼鏡やコンタクトレンズによる矯正
- 必要な補装具の処方



相談・支援

- 教育的視機能評価
  遠距離視力　近距離視力
  最大視認力
  視知覚発達検査　等
- 学習環境の整備
- 拡大教科書の選定
- 必要な視覚補助具の選定と活用するための練習
- 教材教具の工夫
- 支援する上での工夫や配慮事項についての相談

相談依頼（例）

・見えにくそうな様子がある。

・視力測定がうまくできない。

・どのような見え方をしているのだろうか。

・見えにくさに対する支援方法を知りたい。

・見えにくさに配慮した教材作成、環境設定について知りたい。

・文字の読み書きが難しい。

・進路について悩んでいる。



教育的視機能評価

保育・授業観察

具体的な支援についての相談

入園・入学時の引き継ぎ



来校相談・弱視通級指導教室の活用

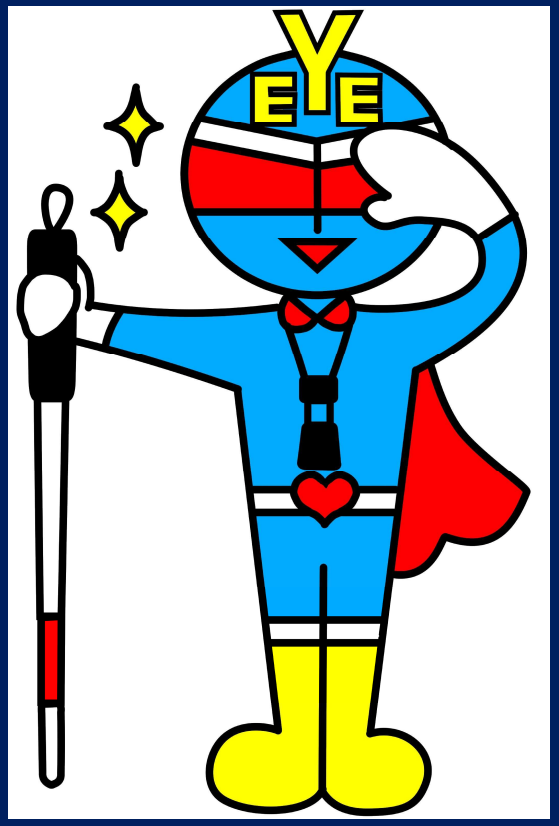
センター的機能②

【研修支援】

・巡回相談員や校内人材バンクから講師を派遣し、
児童生徒の学習や、教職員・保護者の研修を支援する。

視覚障がいについて　色覚について
弱視児の支援について　視覚障がい疑似体験
視覚障がいがある当事者の体験談
点字について　手引き歩行の体験　など

ぜひ、ご活用ください。



お気軽に
お問い合わせください。

徳島視覚支援学校　キャラクター

あいれんじゃー

徳島県立徳島視覚支援学校

TEL　088−622−6255